

開催日時	令和2年12月23日(水) 19時00分～20時30分
開催場所	Zoom会議
出席者	佐野、高本、甲斐、小川、矢野、篠田、今西、堤(理事)
欠席者	なし
記録者	小川、今西
議題1	災害対策部ベーシック研修会(令和2年12月6日:Web開催)を振り返って
決定事項	<p>・参加者は16名(県士会員:5名、県内OT:2名、県内他職種:2名、医師:1名、尼崎市役所:1名、学生2名、京都府PT:1名、山口県PT:1名、大阪府ST:1名)</p> <p>【運営についての振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none">・参加者が少なかった。・開催時間が長く、申し込みが少なかったのか？(午後の講義から退出した参加者が多い) →短い時間で頻度を増やした研修会がよいのではないか。・参加の確認をカメラにて行ったが、参加者へのプライバシーの配慮が不十分ではなかったか？ →カメラは基本オフで、チャット機能を使って参加確認をしてはどうか？また、Zoomウェビナーを使用できないか？(研修会によっては最後に問題を提示し、合格で参加認定となる。)・学生向けのコンテンツがあってもよいのではないか？・兵庫 JRAT からの紹介による参加者はいなかった。・県士会事務所を使用し、資機材も県士会のものを使用できた。県士会事務所のWiFiやポケットWiFiも利用でき、Web研修会を開くには最適であった。・フェイスシールドやマスク、ガウンは災害対策部で準備し、換気も常に行っていた。また、食事も離れて食べ、感染対策は行っていた。・講師用マイクの性能が良く、周囲の他の音も拾ってしまっていた。・講義中も換気のため非常扉を開けており、外を走る救急車の音をマイクが拾ってしまった。・マイクの切り替えについては2名で十分対応できた。カメラの切り替えについても円滑に行えた。・参加者の入室については、参加人数が少ないこともあり、滞りなく行えた。 <p>【講義についての振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none">・講義で動画を流した際に、動画が止まってしまう参加者がいた。・医師が講師の講義では、災害関連死や病理の話など、医師にしかできない話が聞きたかった。・講義中に設問を多く提示したが、時間が足りなくなりそうだった。・講義内容を削り、参加者に考えて頂く内容を多く取り入れたが、十分な量を確保できなかった。・避難所運営を疑似体験できるゲームを行ったが、ゲームの流れは追えたが、参加者個々の意見や判断を聞く場面が少なかった。

議題 2	災害対策部アドバンス研修会の開催について
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・目標:災害支援をスムーズに受援するための本部運営について学び、体験してもらう。 ・開催時間については、前回は3講義・1実習の6時間であったが、1講義・1実習の3時間にしているかどうか？(単位申請を行わないのであれば、もう少し短い研修会でもよいか) ・内容は前回のアドバンス研修会を参考に検討する。 (「災害リハビリ概論」、「災害リハビリの管理運営」、「本部内記録と一覧表の作成」、「リハビリ本部運営ゲーム(REHUG)の体験」) <p>【実習(REHUG)の進め方について】 ※2つの案を検討</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 実際に部員らでゲームを実施し、それをカメラで中継して参加者に観てもらおう。(参加者には、記録係役としてゲームに参加してもらう) →本部の運営、設営の流れを理解しやすいのではないかと。しかし、部員の数に足りず、事前に動画を撮っておいた方がよいか？ ② ゲームで使用するカードを1枚ずつ提示し、考え方や注意点、必要物品、人や物の管理方法などを説明しながら進めていく。(参加者には、本部で作成される記録表やリスト表などの作成を体験してもらう。部員は当日までにそれぞれの説明を行うパワーポイントを作成し、当日には参加者に見本となる表を提示する) <ul style="list-style-type: none"> ・参加費は0円とする。 ・ベーシック研修にしか参加していない参加者に対し、案内を直接出してみてもどうか。 ・3月の日曜日での開催を目指す。
継続事項	特になし
次回部会 日時・場所	日時; 令和3年2月の第1週 場所; Zoom 会議
今後の予定	令和3年3月中に災害対策部アドバンス研修会を開催